

## 安全データシート

作成日 2009年12月22日  
改訂日 2024年4月1日

## 1. 製品及び会社情報

製品の名称  
会社名  
住所  
担当部門  
電話番号  
FAX番号  
緊急連絡電話番号  
推奨用途及び使用上の制限  
整理番号

アサヒボンド460グレー 硬化剤一般型  
アサヒボンド工業株式会社  
東京都板橋区大谷口北町3-7  
営業部  
03-3972-4929  
03-3972-4583  
営業部 03-3972-4929  
塗りに限る。  
10922

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品の GHS 分類

物理化学的危険性  
健康に対する有害性

引火性液体	区分に該当しない
急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
皮膚感作性	区分1
発がん性	区分2
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分3 水生環境有害性 長期(慢性) 区分3

環境に対する有害性

\* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素  
絵表示注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
(H302) 飲み込むと有害  
(H314) 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷  
(H318) 重篤な眼の損傷  
(H317) アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
(H351) 発がんのおそれの疑い  
(H361) 生殖能又は胎児への悪影響へのおそれの疑い  
(H371) 臓器の障害のおそれ  
(H373) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ  
(H402) 水生生物に有害  
(H412) 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

## 【安全対策】

(P264) 取り扱い後は手をよく洗うこと。  
(P270) この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
(P260) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
(P280) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
(P272) 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
(P201) 使用前に取扱説明書を入手すること。  
(P202) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
(P273) 環境への放出を避けること。  
【応急措置】  
(P301+P312) 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
(P330) 口をすすぐこと。  
(P301+P330+P331) 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
(P303+P361+P353) 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。  
皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
(P363) 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
(P304+P340) 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

- (P310) 直ちに医師に連絡すること。  
 (P305+P351+P338) 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 (P302+P352) 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。  
 (P333+P313) 皮膚刺激または発しんが生じた場合は、医師の診察/手当を受けること。  
 (P362+P364) 汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 (P308+P313) ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当を受けること。  
 (P308+P311) ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。  
 (P314) 気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けること。

## 【保管】

(P405) 施錠して保管すること。

## 【廃棄】

(P501) 内容物/容器を空にし、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学品又は一般名 危険有害成分	混合物 変性脂肪族ポリアミン		
化学名又は一般名	濃度 (%)	CAS番号	官報公示整理番号
変性脂肪族ポリアミン	35～45	記載あり	非公表
メタ-キシリレンジアミン	2～3	1477-55-0	(3)-308,(3)-2888(化審法・安衛法)
ベンジルアルコール	2～3	100-51-6	(3)-1011(化審法・安衛法)
酸化チタン	7～12	13463-67-7	(1)-558(化審法・安衛法)
炭酸カルシウム	35～40	471-34-1	(1)-122(化審法・安衛法)

## 4. 応急措置

吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。汚染した衣類を再使用する場合には洗濯をすること。多量の水と石鹸で洗うこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。皮膚刺激または発しんが生じた場合は、医師の診察/手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合 応急措置をする者の保護	気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。救助者は保護手袋や保護眼鏡などの保護具を着用し、衣類や手につかないように注意を払うこと。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、ドライケミカル消火剤、耐アルコール泡消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	棒上水。放水の結果、可燃性液体の飛散を招く可能性がある。
火災時の特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。加熱すると容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ、容器を火災区域から移動する。消火水を止め、後で廃棄する: 物質を拡散させてはいけない。容器内に水を入れてはいけない。
消火活動を行う者の特別の保護具及び予防措置	消火の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。消火後も大量の水を用いて十分に容器及び周囲に散水して冷却する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外は近づけない。作業者は適切な保護具を着用し、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。適切な保護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所は換気する。
環境に対する注意事項	河川、水路、下水等に排出され、環境中へ影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出物を砂等の不活性な吸収剤に吸収し容器に回収すること。危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。排水溝、下水溝、地下室、あるいは狭い場所への流入を防ぐ。容器内に水を入れてはいけない。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	取り扱い後、手や顔をよく洗い、うがいをすること。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 環境への放出を避けること。
接触回避 衛生対策	「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管	
安全な保管条件	酸化剤、酸から離して保管する。
安全な容器包装材料	容器を密閉して、30℃以下の風通しのよいところで施錠して保管すること。 表面処理された鋼板、あるいは、ステンレス容器に保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	日本産衛学会	ベンジルアルコール 25mg/m <sup>3</sup>
		酸化チタン 4mg/m <sup>3</sup> TWA(総粉じん)
	ACGIH(2009年版)	メタ-キシリレンジアミン TLV-STEL 0.1mg/m <sup>3</sup> 皮膚吸収性有り
		炭酸カルシウム 10mg/m <sup>3</sup> (総粉じん)
設備対策	気中濃度を推奨された許容濃度以下に保つために、局所排気装置を設置すること。 貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。	
保護具		
呼吸器の保護具	防毒マスク(有機ガス用)	
手の保護具	耐油性(不浸透性)の手袋	
眼、顔面の保護具	保護眼鏡または安全ゴーグル	
皮膚及び身体の保護具	長靴、前掛け、保護衣	
特別な注意事項	取り扱い後、石けんと水で手や顔をよく洗い、うがいをすること。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。	

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態、色	グレー色液状
臭い	アミン臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	可燃性であるが消防法上の可燃性液体には該当しない。
爆発下限及び爆発上限/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	芳香族炭化水素系溶剤、アルコール系溶剤の混合溶剤に可溶。
n-オクタノール/水分分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	密度 1.4~1.5g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	炭酸ガス、酸性物質、エポキシ化合物及びイソシアネート化合物等と反応する。
化学的安定性	通常の取扱い条件下では安定であるが、長時間の空気との接触では変質する。
危険有害性反応可能性	強酸性物質、エポキシ化合物及びイソシアネート化合物、過酸化剤等との混触。
避けるべき条件	過度の継続的加熱。空気及び水との接触。
混触危険物質	炭酸ガス、酸性物質、エポキシ化合物、イソシアネート化合物、過酸化剤等。
危険有害な分解生成物	アミン類、アンモニア、燃焼等によるCO、NO <sub>x</sub>

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	飲み込むと有害 (区分4) 以下の区分の急性毒性物質を含む。 区分4 メタ-キシリレンジアミン ラット LD50 660-1180mg/kg 区分4 ベンジルアルコール ラット LD50 1230mg/kg
------	----	--

	区分に該当しない	酸化チタン	ラット LD50 >20000 mg/kg
	区分に該当しない	炭酸カルシウム	ラット LD50 6450mg/kg
経皮	区分に外当しない	以下の区分の急性毒性物質を含む。	
	区分に外当しない	原料混合物(変性脂肪族ポリアミン、メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール)	
	区分4	メタ-キシリレンジアミン	ウサギ LD50 2000mg/kg
	区分4	ベンジルアルコール	ウサギ LD50 1700mg/kg
吸入 (ミスト)	区分に外当しない	以下の区分の物質を含む。	
	区分に外当しない	原料混合物(変性脂肪族ポリアミン、メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール)	
	区分3	メタ-キシリレンジアミン	ラット LC50 4時間:0.7mg/L
	区分に外当しない	ベンジルアルコール	ラット LC50 4時間:8.9mg/L
吸入 (粉じん)	区分に外当しない	原料混合物(変性脂肪族ポリアミン、メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール)	
	分類できない	炭酸カルシウム	
皮膚腐食性/刺激性	重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷(区分1)	以下の区分の物質を含む。	
	区分1	原料混合物(変性脂肪族ポリアミン、メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール)	
	区分1	メタ-キシリレンジアミン; 適用試験でラット、マウス共強い壊死性が見られ腐食性を有する。	
	区分に該当しない	ベンジルアルコール; 皮膚一次刺激性指標値 PII は 2.3 以下である。	
	区分に該当しない	炭酸カルシウム	
眼に対する重篤な損傷/刺激性	重篤な眼の損傷(区分1)	以下の区分の物質を含む。	
	区分1	原料混合物(変性脂肪族ポリアミン、メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール)	
	区分1	メタ-キシリレンジアミン; 腐食性物質としての分類から区分1の評価になっている。	
	区分2	ベンジルアルコール	
	区分2	炭酸カルシウム	
呼吸器感作性又は皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(区分1)	呼吸器感作性: データなし	
		以下の区分の皮膚感作性の物質を含む。	
	区分1	原料混合物(変性脂肪族ポリアミン、メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール)	
	区分1	メタ-キシリレンジアミン; モルモットでのマキシマイゼーション試験で強い感作性物質に分類されている。	
	分類できない	ベンジルアルコール	
発がん性	発がんのおそれの疑い(区分2)	区分2 酸化チタン; IARC でグループ2B に分類される。	
	分類できない	原料混合物(変性脂肪族ポリアミン、メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール)	
	分類できない	メタ-キシリレンジアミン	
	区分に該当しない	ベンジルアルコール	
生殖毒性	生殖能又は胎児への悪影響へのおそれの疑い(区分2)	区分2 原料混合物(変性脂肪族ポリアミン、メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール)	
	分類できない	ベンジルアルコール	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	臓器の障害のおそれ(区分2)	以下の区分の物質を含む。	
	区分2	原料混合物(変性脂肪族ポリアミン、メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール)	
	区分1	メタ-キシリレンジアミン	
	分類できない	ベンジルアルコール; ラット・マウスの吸入試験で嗜眠・昏睡・運動失調などの神経毒性緒症状を示す報告がありリスト3のデータであるため分類できない。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(区分2)	区分2 原料混合物(変性脂肪族ポリアミン、メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール)	
	分類できない	メタ-キシリレンジアミン	
	区分1	メタ-キシリレンジアミン	
	分類できない	ベンジルアルコール	
誤えん有害性	分類できない	データなし	

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水性環境有害性 短期(急性) 水生生物に有害 (区分3)

以下の区分の水性環境急性有害性の物質を含む。

	区分3 原料混合物(変性脂肪族ポリアミン、メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール)
	区分3 メタ-キシリレンジアミン 甲殻類 48EC50; 15mg/L[オオミジンコ]
水性環境有害性	長期(慢性) 長期継続的影響によって水生生物に有害 (区分3)
	区分3 原料混合物(変性脂肪族ポリアミン、メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール)
	区分3 メタ-キシリレンジアミン 甲殻類 21dayNOEC; 4.7mg/L[オオミジンコ]
残留性・分解性	メタ-キシリレンジアミン 難分解性:BOD分解度:22%
	ベンジルアルコール データなし
生体蓄積性	メタ-キシリレンジアミン 低濃縮性:BCF<2.7
	ベンジルアルコール log Pow=1.1(ICSC,2000)
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	本製品成分はモントリオール議定書の付属書にリストアップされていない。

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

### 14. 輸送上の注意

国連番号	2735
品名(国連輸送名)	ポリアミン類(液体)(腐食性のもの)
国連分類	8
容器等級	III
海洋汚染物質	該当(有害液体物質 Y 類;ベンジルアルコール、有害物質 Z 類;酸化チタン)
海上規制情報	IMOの規定に従う。
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。

### 15. 適用法令

消防法	危険物第4類第3石油類非水溶性 危険等級III
化審法	既存化学物質リストへの収載
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当しない。
毒物及び劇物取締法	該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示すべき有害物 メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール、酸化チタン 名称等を通知すべき有害物 メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール、酸化チタン
皮膚等障害化学物質	メタ-キシリレンジアミン、ベンジルアルコール
厚生労働省基準局長通達(基発第 477 号の 2、エポキシ樹脂硬化剤の主成分表示)	変性脂肪族ポリアミン
船舶安全法	腐食性物質(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)
航空法	腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

### 16. その他の情報

JAIA-008061-F☆☆☆☆

参考文献

- |                       |          |
|-----------------------|----------|
| 1) JIS Z 7252 及び 7253 | 日本規格協会発行 |
| 2) 原料メーカー発行の安全データシート  |          |
| 3) 日化協「緊急時応急措置指針      | 日本化学工業協会 |

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。